

## 日光市・NTT東日本栃木支店による「ワーケーション」への取り組みについて

### 1 経緯

日光市では令和元年度から、諸課題を民間企業と協働する事で解決を目指す「日光市と民間企業等との協働に関する提案募集制度」を展開しており、同年8月にNTT東日本栃木支店と市民生活向上と地域経済活性化の推進をサポートするため連携協定を締結しました。

現在まで、様々な取り組みを実施しておりますが、令和2年度は特に、新型コロナウイルスの感染拡大により、リモートワークが普及し、休暇を兼ねて観光地である「日光」で仕事する「ワーケーション」に着目し、宿泊費の一部補助を含めた実証実験を通し、観光振興やコロナ禍の先にある新しい働き方（テレワーク・2地域居住など）につなげていくため、「ワーケーション」事業を協働で取り組んでいます。

【これまでの取り組み事例】

|                    | 取り組み内容  |
|--------------------|---|
| 令和元年度<br>※いずれも実証実験 | RPAによる業務改善（空き家バンク登録、文書公告業務）<br>会議音声テキスト化<br>車中泊による遊休地活用 |
| 令和2年度              | 観光DX（人流データ解析に基づく観光実態調査）<br>チャットボットによる問い合わせ対応業務          |

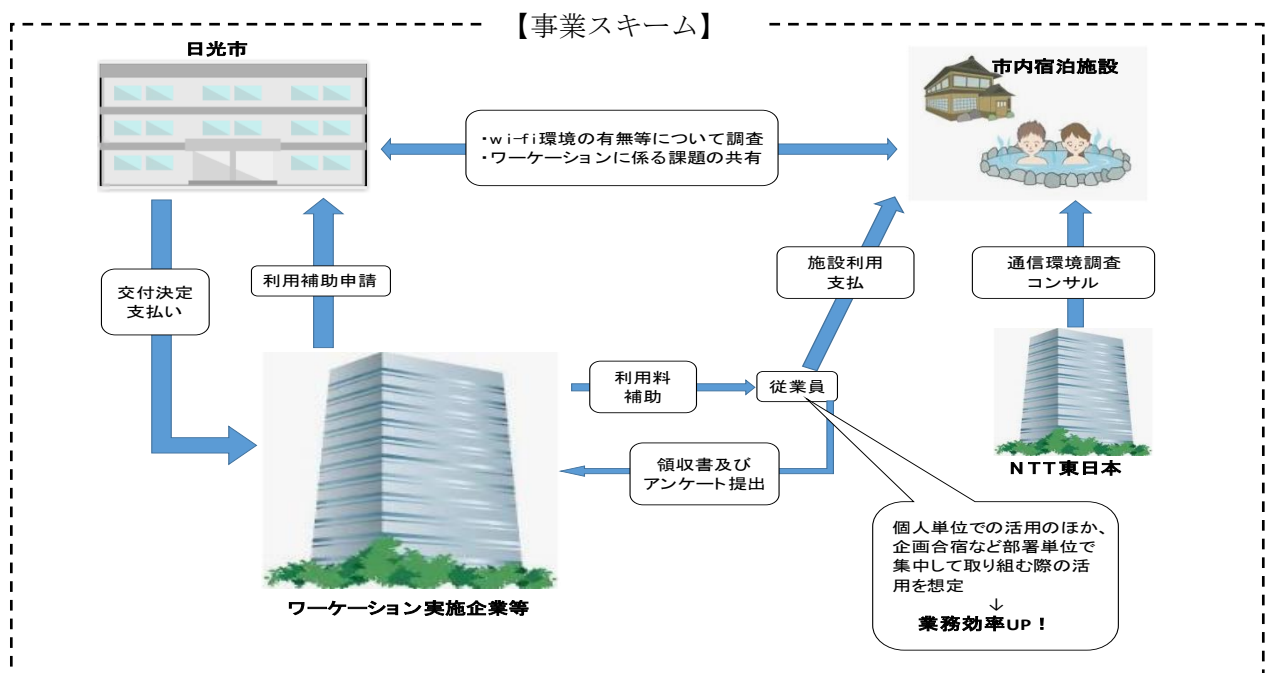
### 2 事業概要及びスキーム

民間企業等が実施するワーケーション事業推進支援のため、宿泊代、利用料の一部を助成する。

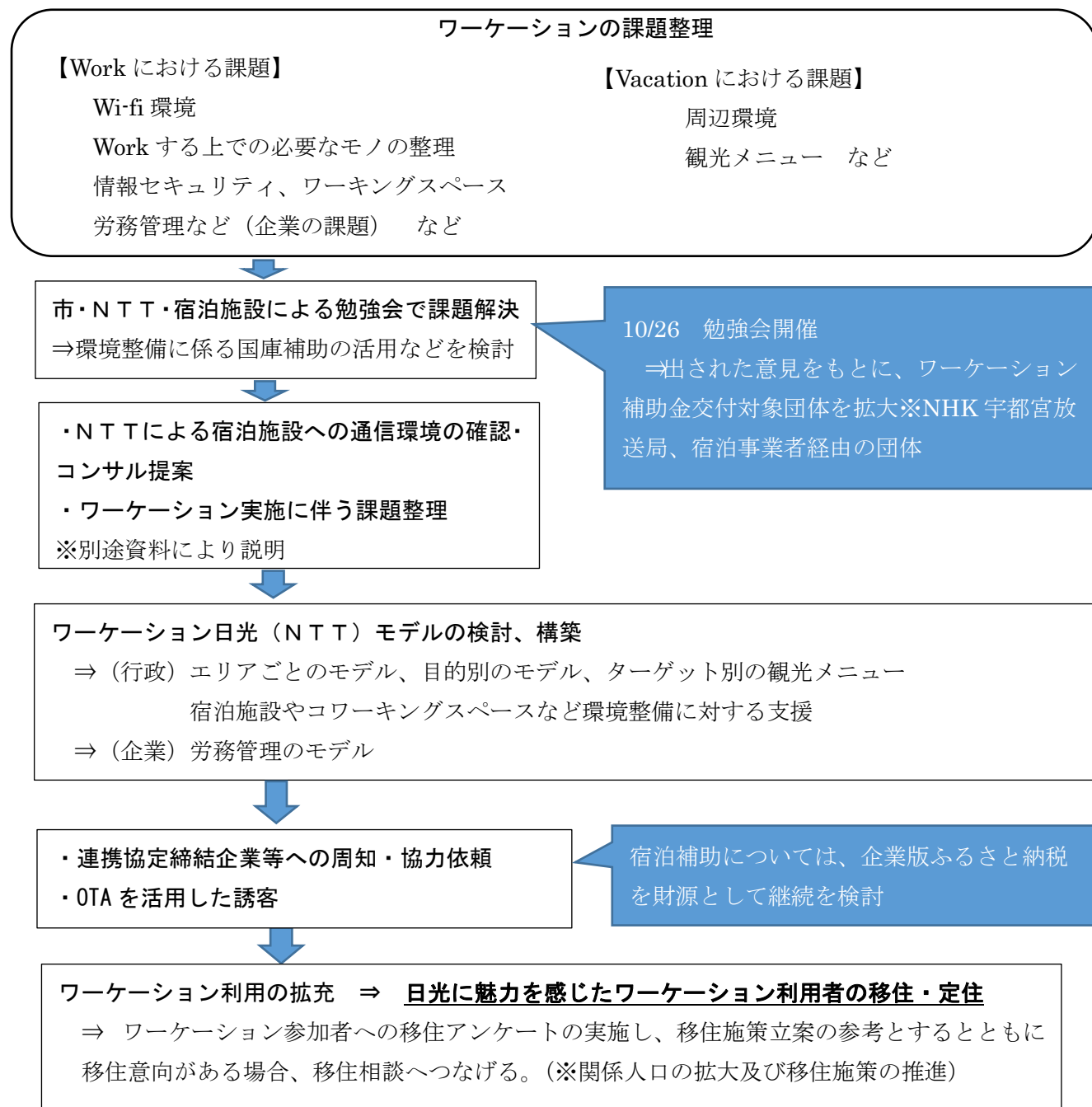
実施に当たっては、連携協定を締結しているNTT東日本栃木支店との実証実験を通して、ワーケーション本格実施に向けての課題を整理する。

また、閑散期の誘客を促進するため、宿泊施設が用意したプランを活用し、ワーケーションを実施する企業に対しても支援を行う。

<補助内容>2泊以上（閑散期の平日）の利用者が対象で、補助率1/2、1泊上限5,000円



3 ワークেশョンの方向性目指すべき姿



4 まとめ

今後、ワークেশョンを実効性のあるものにするためには、行政と企業が深く連携し、それぞれの課題を解決していくことが重要と考える。

このため、連携協定を締結している NTT 東日本栃木支店様をはじめ、関係機関の協力をいただきながら、日光市における様々なワークেশョンモデルや魅力ある情報を発信し、日光市への「ヒト」の誘導を推進することにより、関係人口の増加、ひいては移住からの定住人口増加を目指していく。